

世界港湾会議 2025 in 神戸のご案内

神戸市港湾局
副局長 和泉 智久



世界港湾会議 2025 in 神戸の概要

日 程

2025年10月7日（火）～ 9日（木）の3日間

場 所

ホテルオークラ神戸（メイン会場）

主催者

国際港湾協会（ホスト港：神戸市港湾局）

参加者

約500名

テーマ

Reinvention and Prosperity in Turbulent Times（激動の時代における改革と繁栄）

3日間の懇親会場



1日目ウェルカム
レセプション
(相楽園)

2日目ガラディナー
(神戸ポートピア
ホテル)



3日目インフォー
マルドリンク
(TOOTH TOOTH
FISH IN THE
FOREST)

開催の意義

1952年 世界初の港湾に関する国際会議を神戸で開催

1955年 国際港湾協会が正式に創立



2025年

激動の時代の様々な課題に立ち向かうべく、IAPH創立70周年に“始まりの地”神戸で、IAPHの連携・活動の強化を図る

震災30年 飛躍する神戸の発信

ウォーターフロントの再開発

カーボンニュートラルポートの形成

神戸空港の国際化

震災30年 飛躍する神戸の発信

ウォーターフロントの再開発

カーボンニュートラルポートの形成

神戸空港の国際化

ウォーターフロント開発のあゆみ

- 1868 年 ● 神戸港 開港
- 1900 ~ 40 年代 ● 近代港湾の形成
- 1960 ~ 80 年代 ● 港湾物流のコンテナ化
- 1970 ~ 80 年代 ● メリケンパーク
・ハーバーランド 開発
- 1995 年 ● 阪神・淡路大震災
- 2012 年 ● ウォーターフロント再開発 スタート



神戸ウォーターフロントグランドデザイン

概要

概ね10~15年間

今後、2040年頃までに
ウォーターフロントエリアで
取り組む施策の方針



<コンセプト>

海、山、空を感じ、みなとまちの歴史と

未来をつなぐ、新たな価値創造

神戸ウォーターフロントグランドデザイン

コンセプト (目標年次：2040年頃)

海、山、空を感じ、みなとのまちの歴史と未来をつなぐ、新たな価値創造

移動・回避

戦略

1

居心地がよく、歩きたくなる空間

THEME

- ・ ウォークアブルな空間整備
- ・ 新たな交通システム(LRT等)の導入
- ・ デジタル技術の実装

緑とオープンスペース

戦略

2

海をのぞみ、自然を感じる風景

THEME

- ・ 海を感じる風景・眺望
- ・ 緑のネットワーク(グリーンコネクト)
- ・ 気候変動への対応

夜景・ナイトタイムエコノミー

戦略

3

神戸を象徴し、人を誘う夜景

THEME

- ・ トリプルライトアップやイルミネーション
- ・ 夜型観光コンテンツの充実

民間投資によるまちづくり

戦略

4

産官学によるまちづくり

THEME

- ・ 民間投資を誘発する公共投資・規制緩和
- ・ 高質なオープンスペースや回遊デッキの整備
- ・ エリアマネジメントによる賑わい創出

ウォーターフロント再開発の現状



中突堤周辺



京橋



新港突堤西



海軍操練所遺構を活用した施設導入

宿泊・商業施設の導入

海のエントランス機能強化
(魅力・賑わいのあるポートターミナル、ウォーターフロント全体の回遊性)

倉庫など歴史的建造物を活用した施設の導入

マリーナ周辺
(環境に配慮した上質な浸水空間、船を活用した回遊)

- [取り組み内容]
- ・マリーナ誘致・周辺整備
 - ・次期再開発(宿泊・商業施設の誘致)
 - ・海のエントランス機能の強化

夜間景観



[取り組み内容]
・上質なライトアップやイルミネーション
・夜型観光コンテンツの充実

将来イメージ (2040 年頃)



震災30年 飛躍する神戸の発信

ウォーターフロントの再開発

カーボンニュートラルポートの形成

神戸空港の国際化

カーボンニュートラルポートの形成

水素サプライチェーン構築実証事業

提供：HySTRA



水素エネルギー利用システム開発実証事業

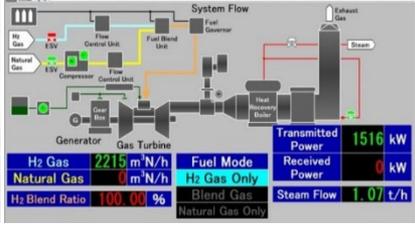
- ✓ 水素100%のガスタービン発電による熱電供給を市街地で達成【世界初】
- ✓ 脱炭素社会の実現に加え、エネルギー供給の強靱化により災害に強い街づくりに貢献

提供：川崎重工業(株)

水素コージェネレーションシステム (CGS)



システムモニター画面



陸上電源供給システムの整備

直接的効果

- ✓ CO₂、NO_x、SO_xの排出削減
- ✓ 騒音、振動、排気ガスの削減

間接的効果

- ✓ 周辺環境改善による再開発の促進
- ✓ 乗組員の就業環境の改善

<新港東ふ頭>

<新港第1突堤>



ブルーカーボンの取り組み



緩傾斜石積み護岸に生息する海藻類



その他のCNPの取り組み

出入船舶

- 神戸市港務艇の水素燃料化
- 内航貨物船の電動化

コンテナターミナル・倉庫

- 太陽光発電、照明設備のLED化
- 門型クレーン(RTG)のクリーン化実証
(水素エンジン)

出入トラック

- コンテナターミナルの渋滞対策
(CONPAS)



新港務艇のイメージ



RTGの水素燃料化実証

震災30年 飛躍する神戸の発信

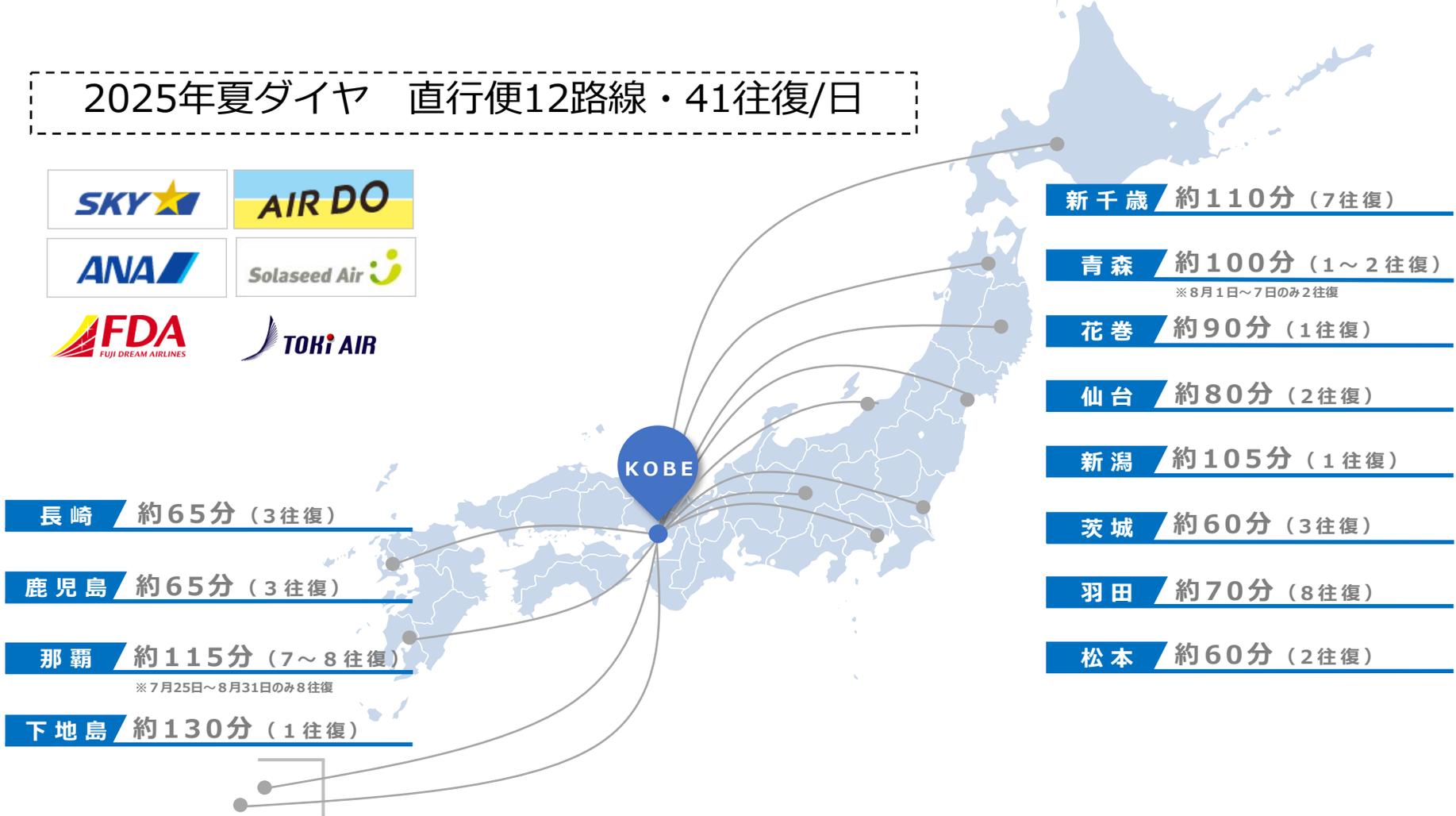
ウォーターフロントの再開発

カーボンニュートラルポートの形成

神戸空港の国際化

神戸空港就航路線（国内線）

2025年夏ダイヤ 直行便12路線・41往復/日



- 新千歳** / 約110分 (7往復)
- 青森** / 約100分 (1~2往復)
※8月1日~7日のみ2往復
- 花巻** / 約90分 (1往復)
- 仙台** / 約80分 (2往復)
- 新潟** / 約105分 (1往復)
- 茨城** / 約60分 (3往復)
- 羽田** / 約70分 (8往復)
- 松本** / 約60分 (2往復)

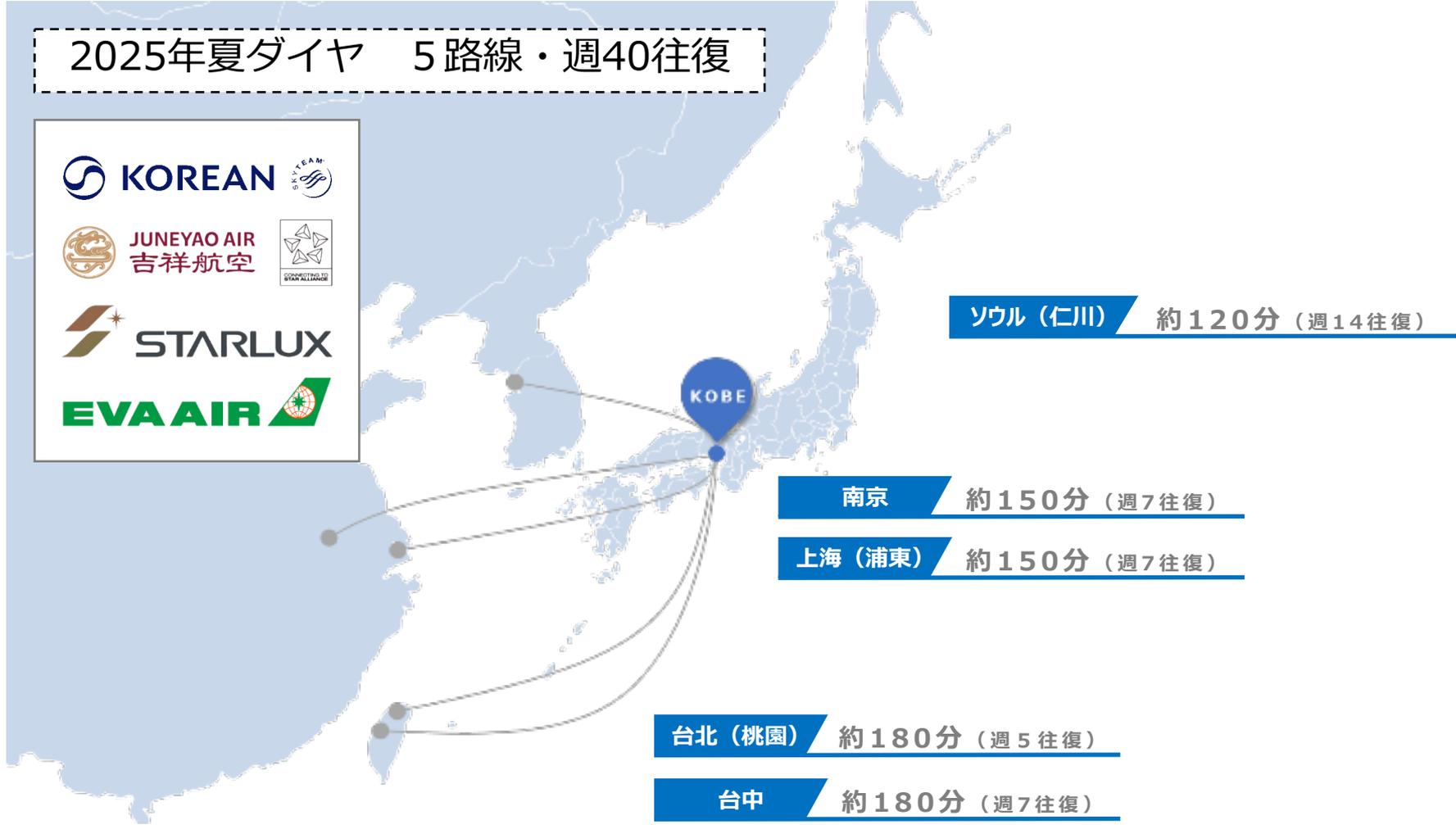
- 長崎** / 約65分 (3往復)
- 鹿児島** / 約65分 (3往復)
- 那覇** / 約115分 (7~8往復)
※7月25日~8月31日のみ8往復
- 下地島** / 約130分 (1往復)

第2ターミナル (外観)



神戸空港就航路線（国際線）

2025年夏ダイヤ 5路線・週40往復



国際チャーター便の就航路線（週40便）

大韓航空（韓国）



吉祥航空（中国）



スターラックス航空（台湾）



エバー航空（台湾）



神戸空港整備状況



第1ターミナルビル

神戸空港駅
(ポートライナー)

エプロン (駐機スポット)
10⇒15スポットへ拡大

第2ターミナルビル
(18,700㎡)
2階建て・展望デッキあり

皆さまのご参加を
心よりお待ちしております。

BE KOBE

